

はしがき

創立 30 周年を迎えて

小林 昭三

にいがた県民教育研究所は 1984 年 12 月の設立総会において創設され、本年の第 31 回総会には設立 30 周年を迎え、本総会の後には、設立 30 周年の記念祝賀会を開催することができました。これらは、ひとえに会員の皆様や関係者の皆様による温かいご支援とご協力のたまものと、心からの感謝の意を表させていただきます。

1983 年 10 月には、新潟の多くの仲間の皆様と共に「にいがた県民教育研究所を設立する呼びかけ」をもとにして本研究所創設への活動を開始しました。それ以来、当時における子どもの荒れなどをもたらした深刻な教育荒廃状況を変革しようと、新潟の教員、保護者、研究者、弁護士などの広範な人々の連携による様々な活動を展開してまいりました。

特に、旧教育基本法と憲法、及び「子どもの権利条約」の理念の実現や教育の再生を目指す、多様な取り組みに特徴づけられる 30 年の歩みを実現できました。その設立準備会以来の「にいがた県民教育研究所の歩み」を、「30 周年記念資料集」としてできるだけ詳細な記録として残して引き継いでまいりたいと考えました。

そこで、本研究所の「組織運営および役員・事務局体制」、「総会および記念行事」、「研究の課題と調査実施内容」、「研究会・常設フォーラム・教育セミナー」という 4 つの大きな区分を設けて、それぞれの区分における多様な取組みと活動の概要や実施項目などを、できるだけ網羅的に収集・集約した解り易い一覧表として、時系列的に整理して提示できるような 30 年の記録資料集を目指しました。

例えば、「組織運営および役員・事務局体制」として、設立の呼びかけ人・趣意書、設立後の役員体制（理事・事務職員・所員）、「研究の課題と調査実施内容」では、県内の子どもの教育に関わる調査・研究、その結果を報告した「にいがたの教育情報」の目録、さらにはシンポジウム、集会、研究会・教育セミナーなどその時宜に叶った研究所の活動を紹介しています。

如何に多様で多彩なシンポジウムや教育研究集会他の取り組みや、活発で画期的な調査・研究活動の数々が取り込まれてきたか等の 30 年にわたる足跡一覧はとても感動的です。

このような 30 年の輝かしい歩みをデジタル化した明瞭な記録媒体として残すことで、その貴重な足跡と教訓を広く共有して世代を超えて末永く引き継いでまいりたいと考えます。

会員の皆様や関係者の皆様からの引き続くご支援とご協力により、今後とも本研究所が半世紀を超えて更なる発展と展開を遂げることができるよう心から願っております。

（こばやし あきぞう・にいがた県民教育研究所理事長）